

『第9回とっておきの音楽祭 IN ふくしま2020』開催方針

令和2年8月1日

とっておきの音楽祭ふくしま実行委員会

とっておきの音楽祭ふくしま実行委員会はこれまで、新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、本年のとっておきの音楽祭 IN ふくしま（以下「音楽祭」という）開催の可否について慎重に協議をしてまいりました。

開催自粛といった声もある中、本音楽祭は東日本大震災直後の困難な時期から開催に向けた準備活動を始め、震災翌年には小規模ながら第1回音楽祭を開催、以後、1度も休止することなく規模を拡大しながら継続してきた実績があること、また、障がいのある人もない人も、ともに音楽を楽しみ、心のバリアフリーを実現するという大きな理想の実現を目指し開催していること、そしてなによりこの音楽祭を心から楽しみにしている出演者や観客のために、本年は「規模を縮小しての開催」をすることを決定しました。

そこで、出演者、観客の皆さまに安心してご来場いただけるよう、また、実行委員や運営スタッフ全員の安全を考慮し、感染拡大防止を最優先事項として開催するために、開催方針を定めることといたしました。

本年の音楽祭開催につきましては、感染拡大のリスクを最小限にできるよう、会場は下記のとおり1会場2ステージのみとします。

【開催日時】 2020年9月22日（火・祝） 午前9時40分～午後17時45分

【会場】 JR福島駅西口駅前広場（時計台前、駐輪場前計2ステージ）

<感染症予防対策について>

開催にあたっては、以下の新型コロナウイルス等の感染症予防対策を実施いたします。

① 観覧スペースにおける来場者への対応

- ・各ステージ前の観覧スペースは、カラーコーンで仕切り、入口、出口を1か所に定めま
- す。
- ・入口では検温を実施し、発熱のある場合は入場をお断りします。
- ・入場に行列ができる場合では、最低1mの間隔を空けた整列を促し、人が密集しないよう工夫します。
- ・対人距離は最低1m確保できるよう呼びかけます。込み合う場合は入場人数の規制を行います。
- ・ステージ上の出演者（演奏者・歌唱者等）と観客の間の距離を、2m以上確保するようにし、飛沫感染対策を行います。
- ・観覧スペース内ではマスクの着用を要請します。
- ・来場者同士の接触、大声による発声を控えるよう促します。
- ・出演者と来場者が接触するような演出（声援を要請する、来場者をステージへ上げるハイタッチをする等）を行わないよう促します。
- ・要請したルールやマナーを遵守できない来場者へは退場を促します。

② 出演者への対応

- ・当日出演するメンバー全員の氏名と連絡先を把握し、名簿を作成します。この情報は必要に応じて保健所等の公的機関へ提出いたします。
- ・出演者受付の際は検温を実施し、発熱がある場合は出演を自粛していただきます。
- ・密集を避けるため、ステージ上に上がる人数は最大8名とします。
- ・ステージ上では原則としてマスク着用を求めますが、表現上困難な場合は出演者間にアクリル板等の仕切りを設けて飛沫感染リスク対策をします。
- ・使用するマイクにはカバーを使用し、1出演者ごとにカバー交換、消毒を実施し、共有を制限するよう努めます。

③ 運営スタッフへの対応

- ・ 例年広く募集していたボランティアスタッフの起用を中止し、最小限度の人数で運営します。
- ・ 当日各自で検温を実施し、発熱がある場合は自宅待機とします。
- ・ 氏名及び緊急連絡先を記載した名簿を作成し、必要に応じ保健所等の公的機関に提出いたします。
- ・ マスク着用と定期的な手指消毒を励行します。
- ・ 物販ブースでは透明ビニールカーテンで購買者との間を遮蔽し、また、多くの人が触れるようなサンプル・見本品の掲示を掲示しません。
- ・ パンフレット、チラシ、アンケート等は極力手渡しによる配布を避けるようにします。
- ・ 清掃やごみの廃棄を行う者は、マスクや手袋の着用を徹底し、作業を終えた後は、石鹸、流水による手洗いを行います。

④ そのほかの対策

- ・ 感染が疑われる者が出た場合、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行います。
- ・ 作成した名簿の保管には十分な対策を講じたうえで1か月間保存します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。今後も政府・自治体等の発表を注視し、状況によっては中止も含めて柔軟に対応していくよう努めてまいります。